

# 決算説明会資料（2014年3月期 通期）

2014年5月20日 / 株式会社 シグマクス（証券コード:6088）



# 本資料の取り扱いについて

本資料は、株式会社シグマクシスの事業および業界動向に加えて、株式会社シグマクシスによる現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確実性がつきまとっています。すでに知られたもしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社シグマクシスは、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、本資料作成時点において利用可能な情報に基づいて、株式会社シグマクシスによりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

# 会社概要

**SIGMAXYZ**

# 株式会社シグマクシス (東証マザーズ/証券コード 6088)

- 設立日:** 2008年5月9日
- 所在地:** 東京都港区虎ノ門4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス9階
- 資本金:** 23億73百万円
- 従業員数:** 400名(2014/4末)
- 主な株主:** 三菱商事株式会社/株式会社インターネットイニシアティブ/株式会社インテック  
株式会社ワコム
- 事業内容:** 企業価値創造を支援するビジネス・コンサルティング・サービス  
(戦略策定・ビジネスモデル設計・ビジネスプロセス設計・情報システム構築など)
- 代表者:** 代表取締役会長兼社長 倉重英樹



# コンサルタントの人数・スキル

領域	主なスキル・専門性	主な出身母体
<b>戦略 コンサルティング (86名)</b>	成長ビジョン策定 / 事業戦略策定 / ビジネスモデル設計 / 新規事業開発 / 事業ポートフォリオ・グループ管理 / M&A 支援・M&A実行 / 企業統合 (PMI) / IT構想策定 / 組織変革プログラム実行 / 海外企業日本進出支援 / 国内企業海外進出支援	外資戦略コンサルティング・ファーム 外資投資銀行 M&Aアドバイザー 国内外金融機関 日本銀行 ベンチャー企業 他
<b>業務 コンサルティング (148名)</b>	経理・財務ビジネスプロセス変革 / キャッシュマネジメント / 連結経営 / リスク・マネジメント / ネットセキュリティ・マネジメント / グローバル・サプライチェーン構築導入 / 物流・在庫最適化 / 営業・マーケティング変革 / ロイヤリティマネジメント / コンタクトセンター変革 / デジタル・マーケティング戦略・施策導入 / 人財マネジメント構想策定 / 人事制度変革 / 人財開発 / 人事システム導入 / ワークスタイル変革 / ダイバーシティマネジメント導入  ---他、各業務のアプリケーションパッケージ導入支援	外資大手コンサルティング会社 ITコンサルティング会社 セキュリティ・コンサルティング会社 アプリケーション・パッケージ会社 製造業企業(自動車・電機 他) 公認会計士 社会保険労務士 物流技術管理士 他
<b>テクノロジー コンサルティング (80名)</b>	情報システム戦略 / エンタープライズアーキテクチャ設計 / システム更改計画策定 / BCP対策 / サービスマネジメント / TCO削減 / データセンタ統合 / SOA設計・構築 / 統合DB構築 / データウェアハウス構築 / 大規模プロジェクトマネジメント / ビッグデータ戦略策定・施策導入	国内外システム・インテグレーター ウェブ・アプリケーション開発会社 プロジェクト・マネージャー(個人) 他

(人数:2014/4月末、新卒採用含まず)

## Xpartner for Your Z

- 戦略実現の「シェルパ」
- 「真の」コラボレーション
- 究極なる価値と「喜び」

# 業績概要

**SIGMAXYZ**

# 業績サマリー

- ・ 減収増益
- ・ 計画未達

単位:百万円	2013年度 実績	対計画比	対前期比	2013年度 計画	2012年度 実績
売上高	9,680	▲13%	▲6%	11,100	10,246
売上総利益	3,069 31.7%	▲18% -1.9pts	+10% +4.4pts	3,730 33.6%	2,798 27.3%
販管費	2,240 23.1%	▲9% +0.9pts	+7% +2.7pts	2,471 22.3%	2,095 20.4%
営業利益	828 8.6%	▲34% -2.8pts	+18% +1.7pts	1,259 11.3%	702 6.9%
経常利益	818 8.5%	▲34% -2.8pts	+16% +1.6pts	1,250 11.3%	703 6.9%
当期純利益	723 7.5%	▲31% -1.9pts	▲37% -3.8pts	1,046 9.4%	1,152 11.3%



# 前期との比較

単位:百万円	2012年度 実績	2013年度 実績	対前期	主な増減理由
売上高	10,246	9,680	▲565	売上高減: システム開発の減少
売上総利益	2,798 27.3%	3,069 31.7%	+271 +4.4pts	売上総利益増: コンサルタント数の増加
販管費	2,095 20.4%	2,240 23.1%	+145 +2.7pts	販管費増: 人員増、投資、上場準備費用
営業利益	702 6.9%	828 8.6%	+125 +1.7pts	
経常利益	703 6.9%	818 8.5%	+115 +1.6pts	
当期純利益	1,152 11.3%	723 7.5%	▲429 -3.8pts	当期純利益減: 税効果会計の影響

# 計画との比較

単位:百万円	2013年度 計画	2013年度 実績	対計画	主な未達理由
売上高	11,100	9,680	▲1,419	システム開発の減少
売上総利益	3,730 33.6%	3,069 31.7%	▲660 -1.9pts	
販管費	2,471 22.3%	2,240 23.1%	▲230 +0.9pts	
営業利益	1,259 11.3%	828 8.6%	▲430 -2.8pts	
経常利益	1,250 11.3%	818 8.5%	▲431 -2.8pts	
当期純利益	1,046 9.4%	723 7.5%	▲322 -1.9pts	

下方修正からの利益下振れ理由  
 売上高 ▲20百万円  
 外注費 +40百万円  
 販管費 +20百万円

# 貸借対照表の推移

- 流動比率が高く、そのうち半分以上が現預金
- 増資と利益により自己資本比率も上昇し、財務健全性が向上

単位:百万円	2012年度 実績	2013年度 実績	対前期	主な増減理由
流動資産	3,382	5,094	+1,711	流動資産増: 主に現預金の増加
流動比率	173%	289%	+116pts	
現預金	1,088	2,690	+1,601	
固定資産	704	769	+64	固定資産増: リアルビジネス投資
資産合計	4,087	5,863	+1,775	
流動負債	1,955	1,765	▲190	借入金:なし
固定負債	3	0	▲3	
負債合計	1,958	1,765	▲193	
純資産	2,128	4,097	1,969	
自己資本比率	52%	70%	+18pts	

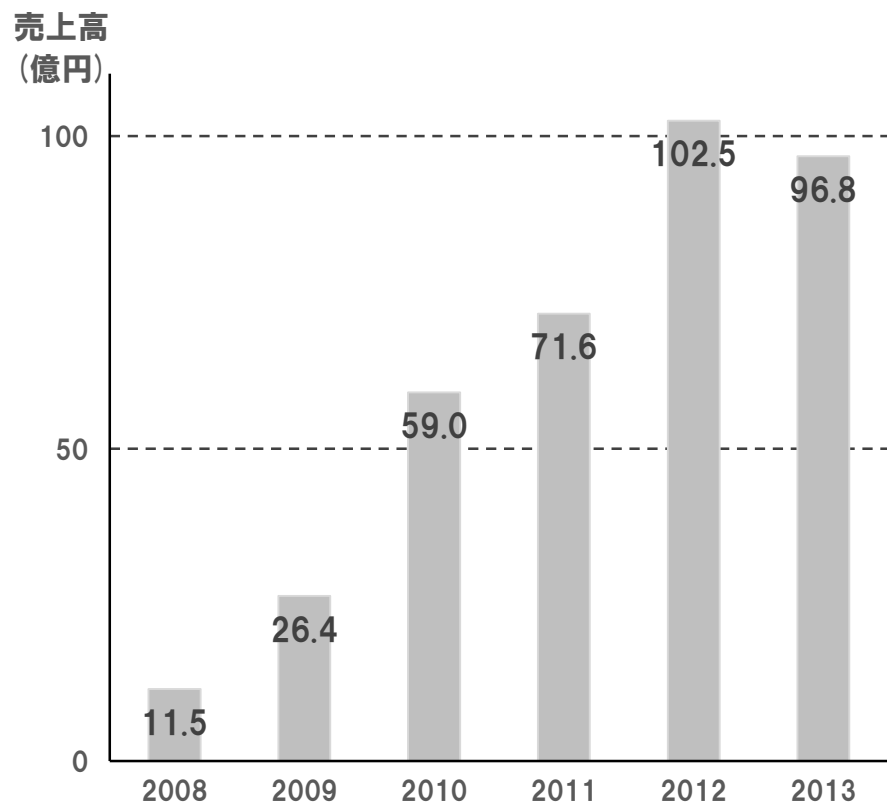
# キャッシュフローの推移

- ・ 継続的に営業キャッシュフローはプラス
- ・ リアルビジネスへの投資が増加

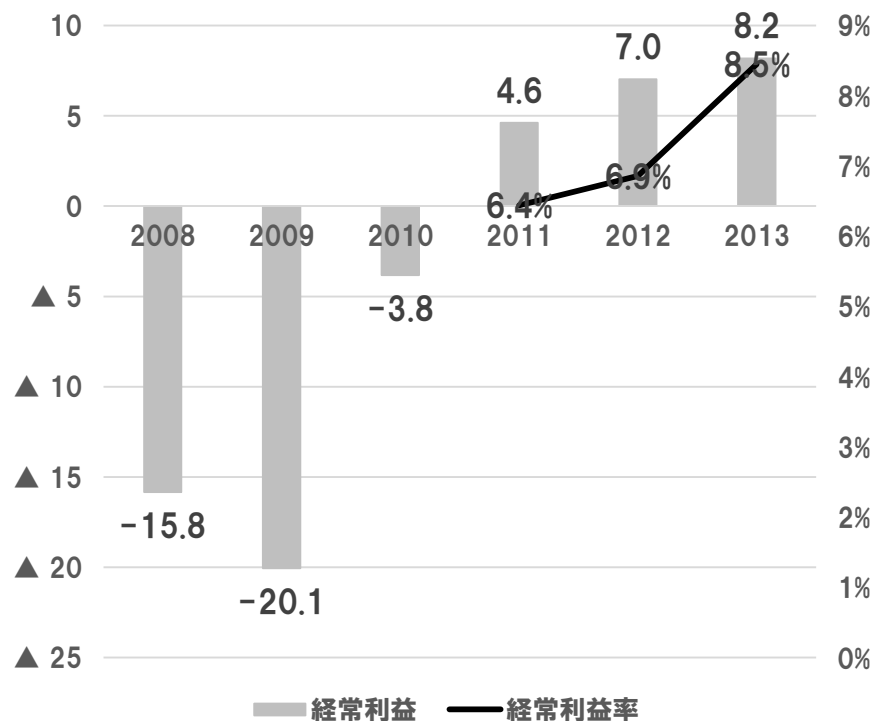
単位:百万円	2012年度 実績	2013年度 実績	主な増減理由
営業活動によるCF	617	676	投資活動によるCF: クラウドサービス開発を2013年度より開始
投資活動によるCF	▲151	▲300	
財務活動によるCF	▲46	1,225	財務活動のCF; 上場に伴う新規株式発行による
現預金	1,088	2,690	

# 業績の推移

- 売上高は減少するも経常利益は増加
- 経常利益率も向上

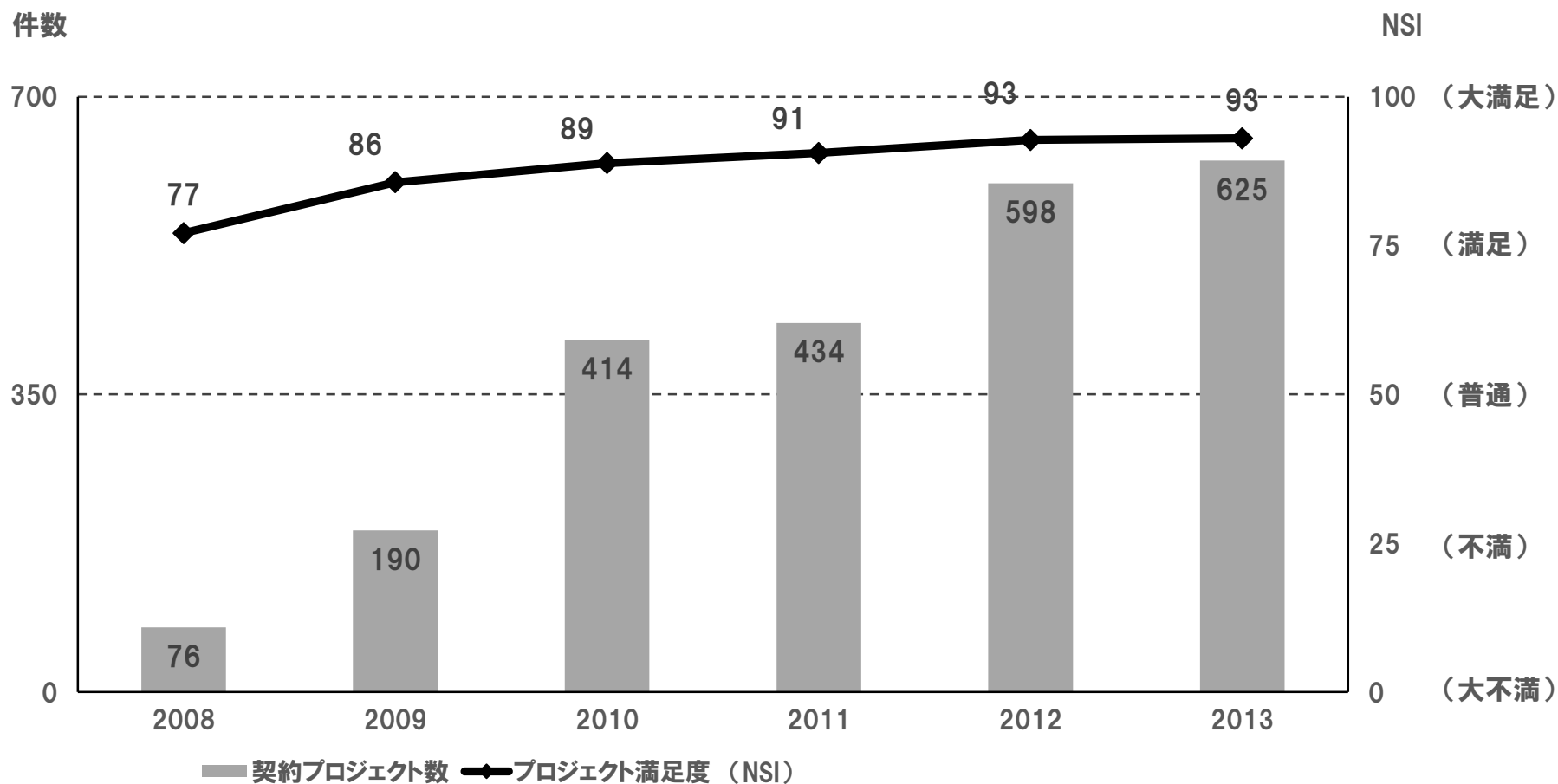


経常利益・経常利益率  
(億円・%)



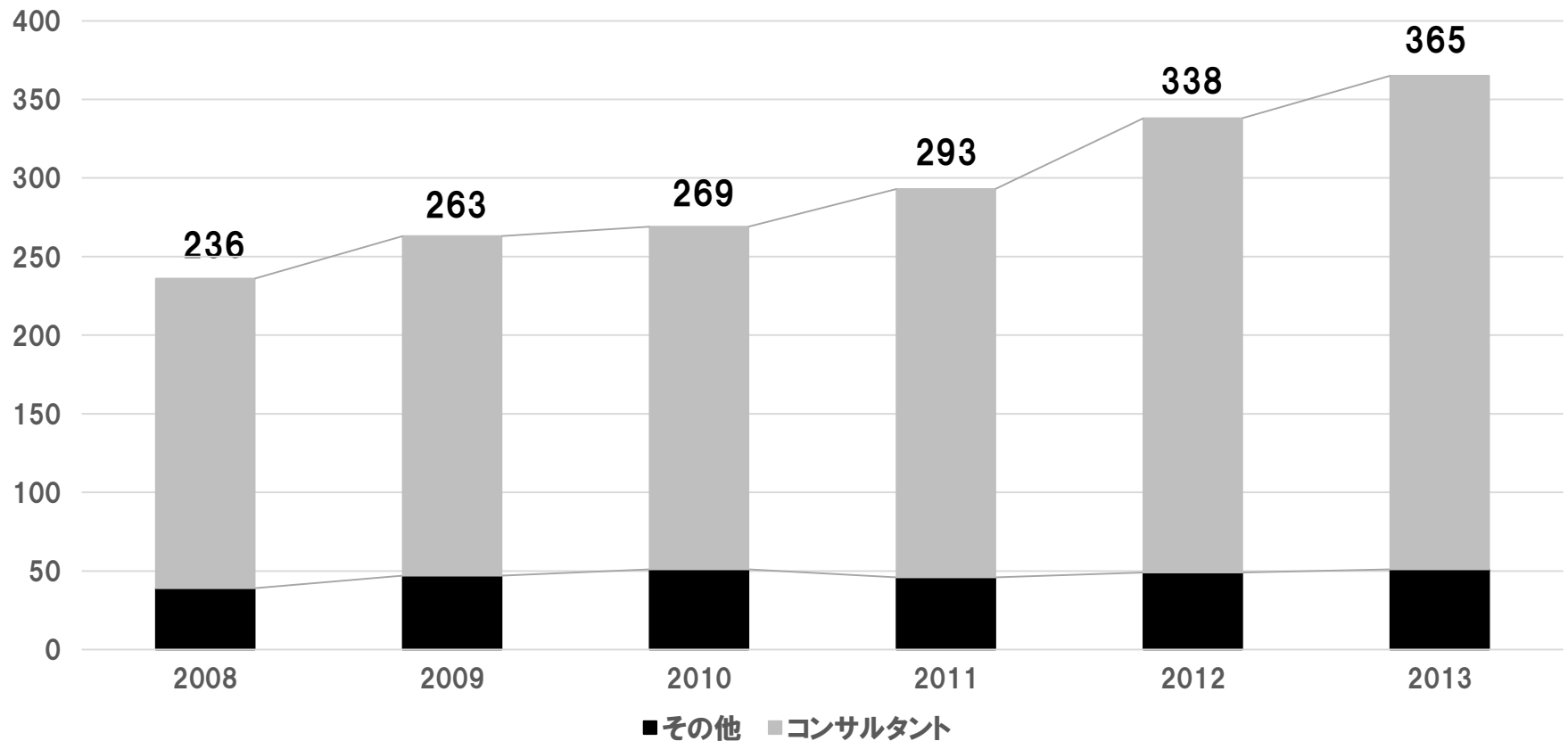
# プロジェクト件数/満足度の推移

- プロジェクト件数は5年連続増加
- 高い顧客満足度をキープ



# 従業員数の推移

- コンサルタント数は増加
- ITシステムの活用によるコーポレートスタッフ数抑制



# 2014年度事業戦略

**SIGMAXYZ**



# ITサービス市場AGR/CAGR

		<u>2013</u>	<u>2014</u>	<u>2017</u>	<u>2012~17</u>
ITサービス	10.3兆	1.9%	1.7	0.7	1.2
コンサル	4,457億	2.0	1.8	0.7	1.5

- HW製品サポート
- SW製品サポート
- コンサルティング
- 導入
- ITアウトソーシング
- BPアウトソーシング

## 加速要因

- グローバル化に伴う、業務プロセスや社内システム標準化
- クラウド化を含む、ITアーキテクチャーの変更や、IT基盤統合の設計
- 新テクノロジーを活用した業務改善・業務改革支援ニーズ

## 減速要因

- IT予算引き締めに伴う、プロジェクト数伸び悩み、案件規模縮小
- 下工程の受注を意図したコンサルティングサービスのプレセールス化
- 業務改善や業務革新に踏み込んだ支援ができるITベンダーの人材不足

出典：Gartner Report 2014.1.31「2013年4Q版セグメント別IT市場規模予測」

# 国内ICT市場動向

		<u>2011</u>	<u>2016</u>	<u>CAGR</u>
第3のPF	( <ul style="list-style-type: none"> <li>モバイル端末</li> <li>クラウド</li> <li>ビッグデータ</li> <li>SNS</li> </ul> )	4.9兆	7.2	7.9%
		<b>Smart IT</b>		
第2のPF	( <ul style="list-style-type: none"> <li>パソコン</li> <li>サーバー</li> <li>業務ソフト</li> <li>ITサービス</li> </ul> )	19.7	17.7	Δ2.1%
<b>Total</b>		<b>24.6</b>	<b>24.9</b>	<b>0.3%</b>
	IT	13.2	13.8	0.9%
	C	11.4	11.1	Δ0.4%

出典: IDC Japan 2012.12.27「国内第3のプラットフォーム市場予測」

# CEOアジェンダ

- **グローバルモデル構築**
  - ・マーケティング
  - ・サプライチェーン
  - ・HCM
  - ・ビジネスマネジメント
- **イノベーション創出体制整備**
  - ・人財・組織の活性化
  - ・ダイバーシティマネジメント
- **企業間連携の促進**
- **戦略実現のスピードアップ**
- **ITの有効活用**

**シェルパの出番**

# シグマクシス戦略マップ

2008 ~ 2010

2011

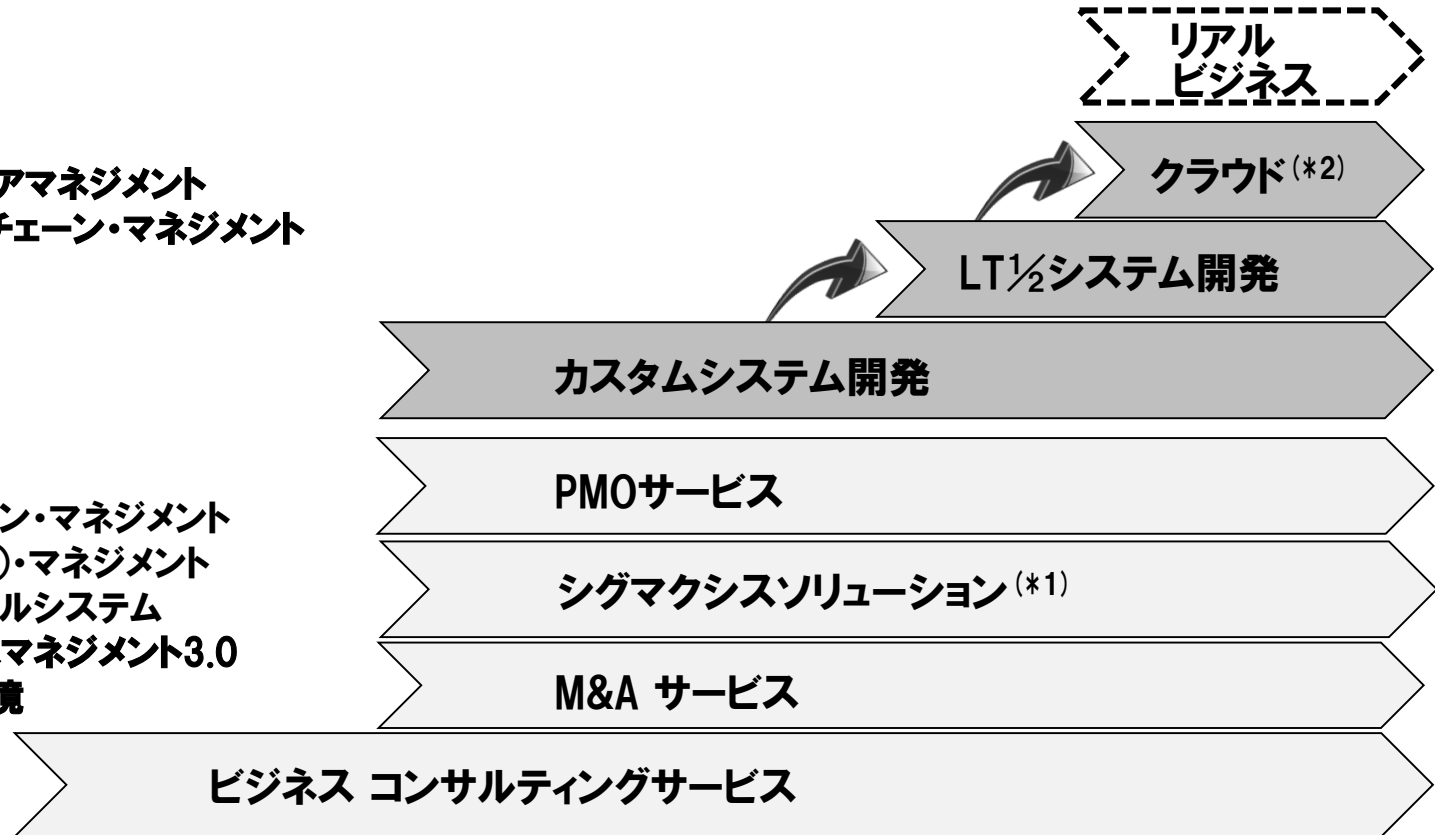
2012

2013

2014

(\*2)  
リアルデジタル・ストアマネジメント  
グローバルサプライチェーン・マネジメント  
グローバル人事

(\*1)  
セールス・パイプライン・マネジメント  
ケイパビリティ(能力)・マネジメント  
シグマクシス・ポータルシステム  
グローバル・ビジネスマネジメント3.0  
ヒューリスティック環境



# 2014年度事業戦略

## コンサルティング

- CEOアジェンダ軸のビジネス
- 次世代テクノロジー(第3のプラットフォーム)へのシフト
- PMOサービスの拡販
- アジアビジネスの開発

## リアルビジネス

- 案件の具体化

# 業績予想

単位:百万円	2014年度 予想	2013年度 実績	対前期増減額	対前年増減率
売上高	9,700	9,680	+19	+0.2%
営業利益	910 9.4%	828 8.6%	+81 +0.8pts	+9.8% —
経常利益	900 9.3%	818 8.5%	+81 +0.8pts	+9.9% —
当期純利益	600 6.2%	723 7.5%	▲123 ▲0.8pts	▲17.1% —

# 配当方針

- **財務体質の強化及び将来の事業展開に備えるために必要な内部留保とのバランスを重視**
- **安定かつ継続的な配当**
- **来年度の配当は12円を予定**